

## 【JAつやま自己改革取組宣言】

これまでも、これからも、地域とともに

JAつやまは総合事業を展開します！

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

- ◇ JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- ◇ 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ◇ 農業者以外の方でも、JA各事業をご利用して頂いている方を、JAの応援団として准組合員として加入いただいております。
- ◇ 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。
- ◇ いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

ここでは、総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAの主な取り組みを次の3点により紹介します。

### 1. 担い手農業者の支援に向けた取り組み

担い手経営体に対して出向く体制を強化して、農協運動の主人公である組合員の声を「聴き」、対話を行い、直接対応による個別支援に取り組み、新たな事業提案や新規就農者への経営支援も行います。

### 2. 生産者コスト低減に向けた取り組み

農園芸資材専門店JA-CATを展開することにより、資材供給体制を整え、配送業務の委託による物流コストの低減と、必要以上の在庫を抱えるリスクを抑え、資材価格の引き下げによる農家所得の増大を図ります。

### 3. 地元農畜産物の消費拡大に向けた取り組み

関西圏の大型スーパー阪急オアシス内に直売コーナーを設けるインショップ事業に取り組み、販売チャネルの多様化と、多品目少量出荷や生産過剰の解消にも役立てます。